



# なかましんぶん

H30年12月1日 VOL93 小川和代



発表会から始まる12月！大仕事を終わると、クリスマスにお正月・・・一年はあっという間ですね。発表会ではそのあっという間の濃い成長を感じて頂けたでしょうか・・・

**リレーから10の姿の育ちを読み解くと・・・**（太字が幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿）

年長さんにとって運動会のリレーはそれぞれに思い出があります。数年前の3月のことです。年長さん達がこそこそ話し合いをしています。「どうしたの？」と聞くと、「来年のリレーでも優勝して大きなトロフィーを守るため、誰か一人保育園に残る相談してる。」「あ、そう・・・」その大真面目な顔を前に、笑う事はとても失礼なのだけど・・・その真剣さがかわいくて笑いがこみ上げてきます・・・（もちろん我慢しました）。数十分が経ち意気揚々と「俺に決まった」と報告に！ほんとに無邪気ですよ～！！『**自立心・・・しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる。**』

そんなこんなで運動会後もリレーは子ども達の好きな遊びの一つになります。当然4月になるとすぐ、新米年長さん達から「運動会でリレー勝とう！！」って話題が出てきます。その燃える気持ちの傍らに、リレーデビューの新米年中さん達があります。経験もなければ興味も薄い・・・公園でも、「よし！練習だ！！」と息巻く年長さんに、「え～私〇〇やりたい～」などと、やりたい人は勝手にやってよ～という雰囲気も漂います。新米年長さんは、あの手この手で新米年中さんを相手に悪戦苦闘の日々が続きます。『**思考力の芽生え・・・友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがある事に気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをより良いものにするようになる。**』

子ども達は日常や行事を通して様々なことを経験し、夏も盛りを過ぎるころにはもうどう見ても年中と年長さん、新米は卒業しています。いろいろなことができるようになる事も成長ですが、心のつながりは同じ釜の飯を食い、毎日と一緒に過ごしたことでとても強く深く結ばれています。いつの間にかリレーが「みんなで成し遂げたい！！」みんなの目標になります。皆で心を合わせ「一致団結」している姿はまさに成長の現れです！『**道徳性・規範意識の芽生え・・・友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪い事が分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。**』

運動会も近づくと、リレーへの思いと願いがさらに熱くなります。勝つためにミーティングが白熱していきませんが、遅い子を責めるような姿は全く見られません。でも「一生懸命やらない態度」には真剣に怒ります。遅い子をカバーする走順も子ども達から自然に案が出てきます。皆が納得し合い、お互いを信頼していることが伝わってきます。こんなにもお互いを認め合える、だからこそ、みんなのために一生懸命ががんばれるのでしょう。『**協同性・・・友達と関わる中で、お互いの思いや考え等を共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げるようになる。**』

勝と負けは、また一つ子ども達を成長させてくれます。勝つ経験は「自信」を知ることができ、負ける経験は「悔しさ」を知ることができます。どちらも、辞書を引きさえすれば知ることができるようなものではありません。どんな経験もその子の宝となっていきます。『**健康な心と体・・・保育所生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しを持って行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。**』

そう、そしてまた一年たって同じような、だけど、その年の子ども達らしいリレーのドラマが繰り返されます。一人ひとりが夢中で今を生きる主演、保育園はそのドラマの舞台なんだな～と思います。